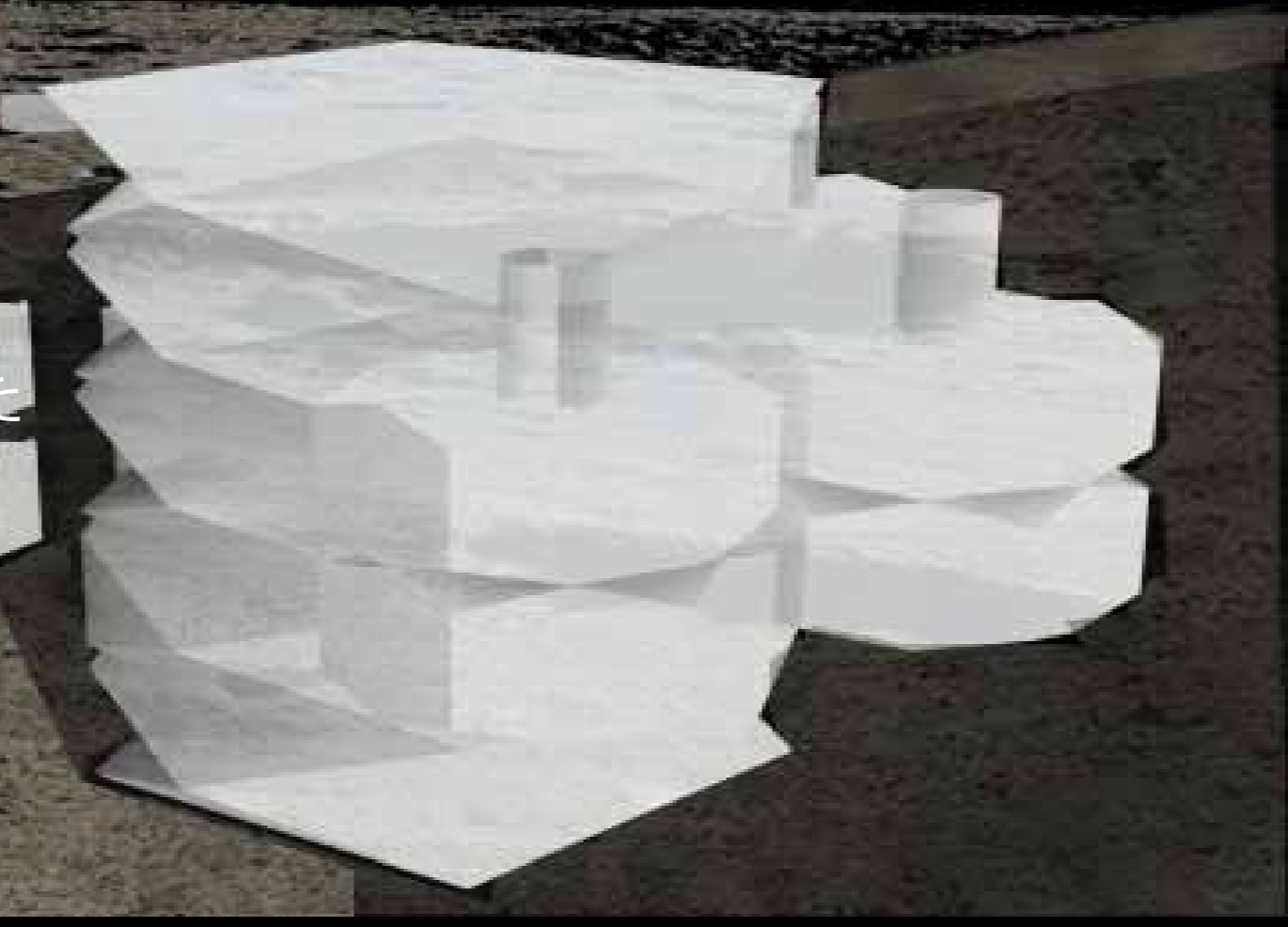


# Folding Dwelling

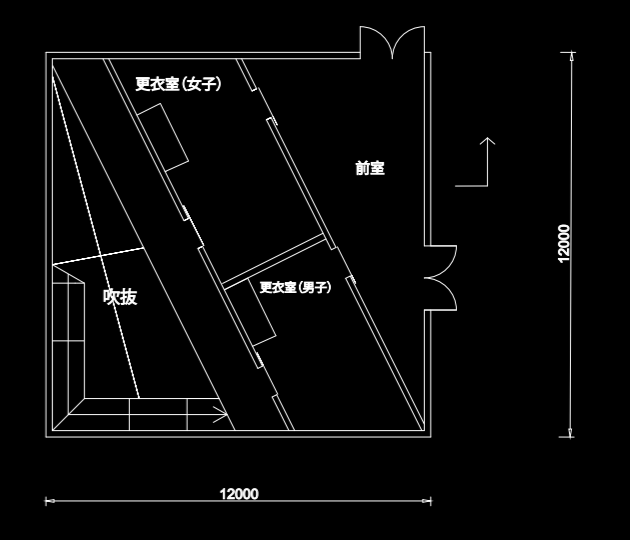
## 設計趣旨

月に住居を計画するにあたって、重力、気温、宇宙放射線、隕石の衝突など、地球と異なる環境を踏まえて地下空間の洞窟に建物を建設する。

また地球からの運搬を考慮して折半構造物とした。縦に伸びる中心の共用スペースのコアを設け、それを取り囲むように住居を配置する。これにより10世帯分の人々のコミュニティーをより強固なものとし、住居の内部には光筒を設け採光を確保し、太陽の光をエネルギーとしても利用できるように心がけた。



## B1F

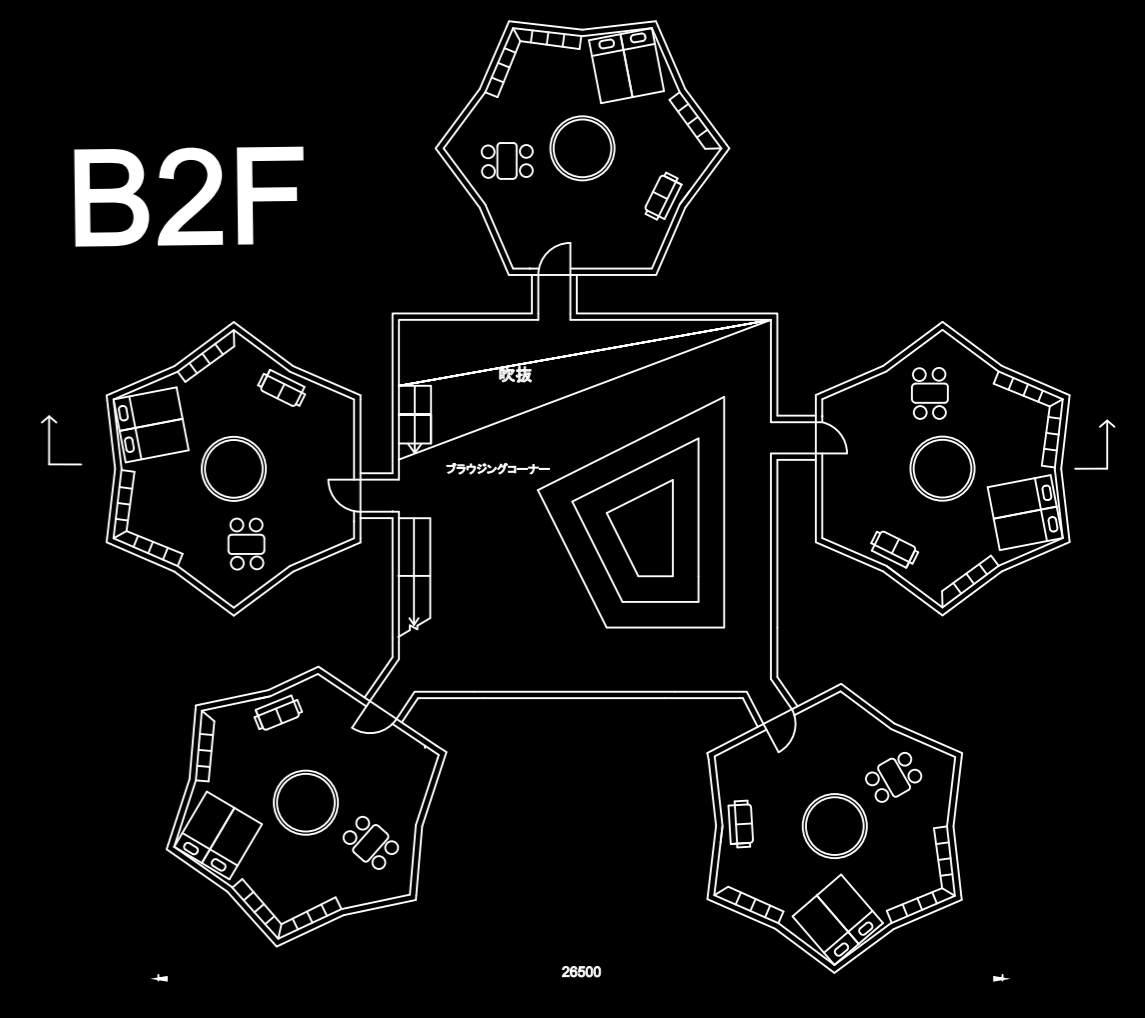


## 敷地条件

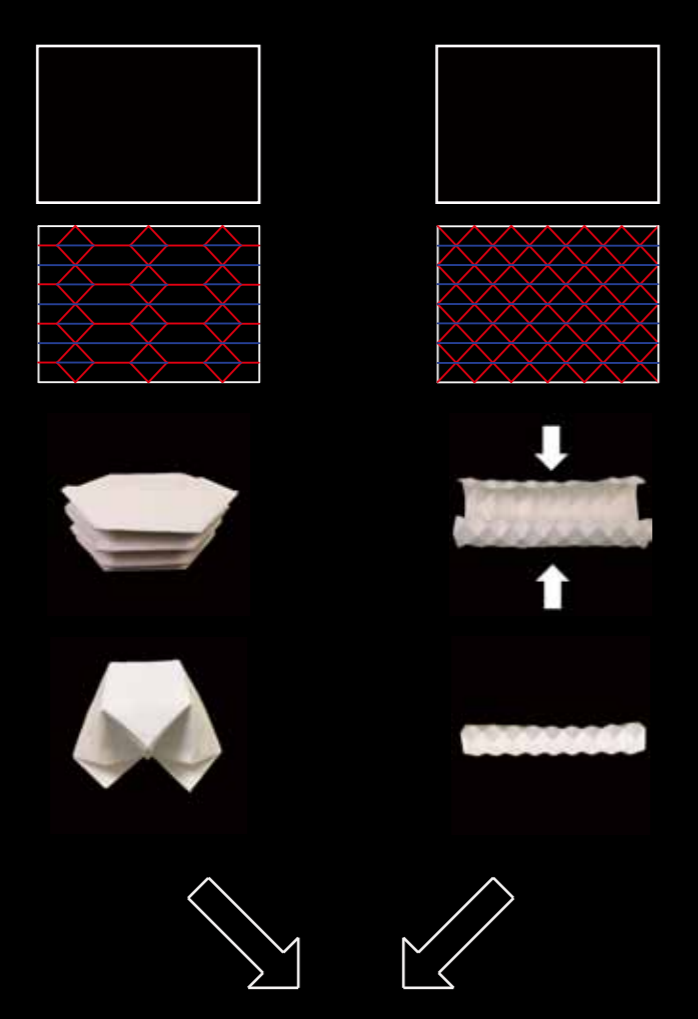
月の南極 (永久日照地帯)  
溶岩洞を利用



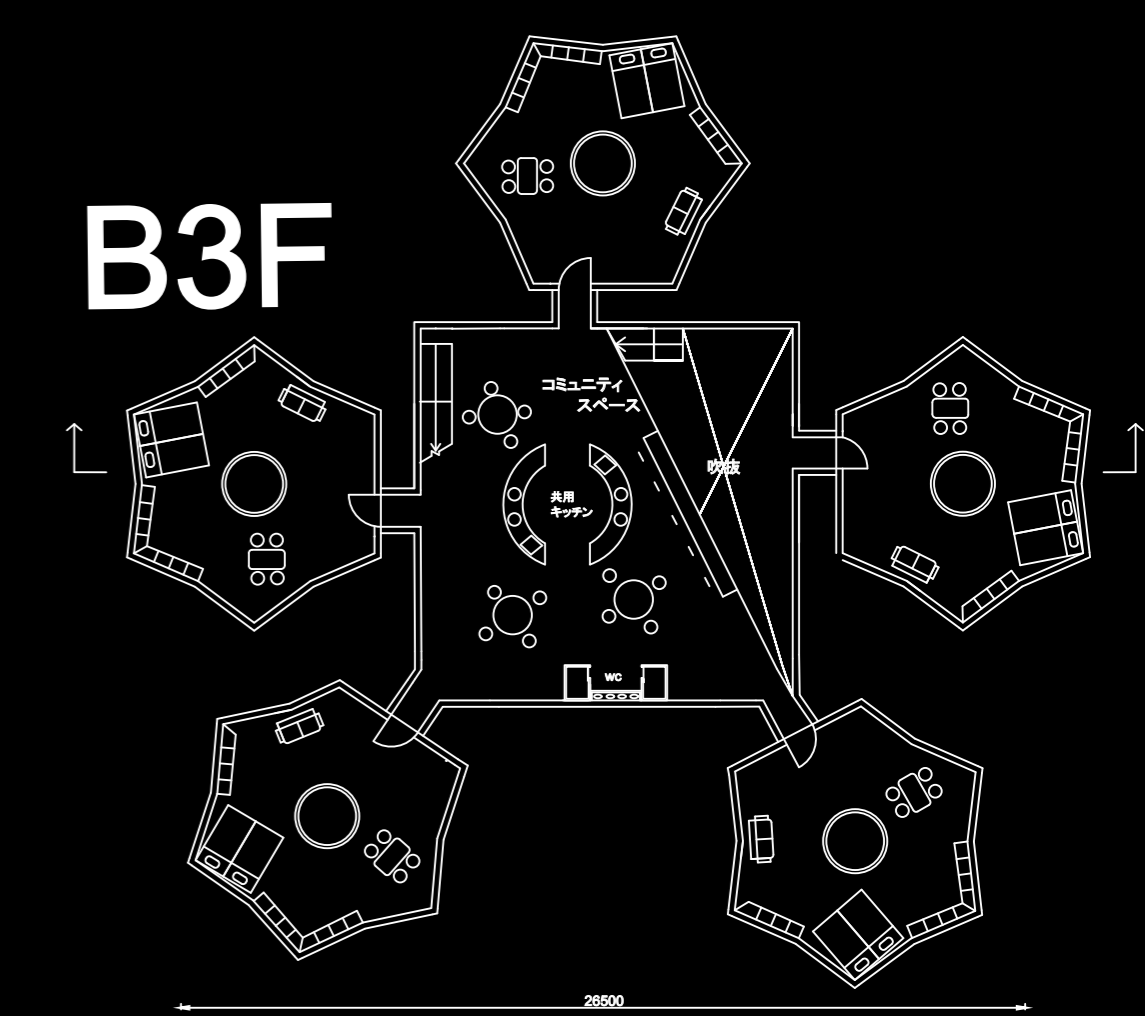
## B2F



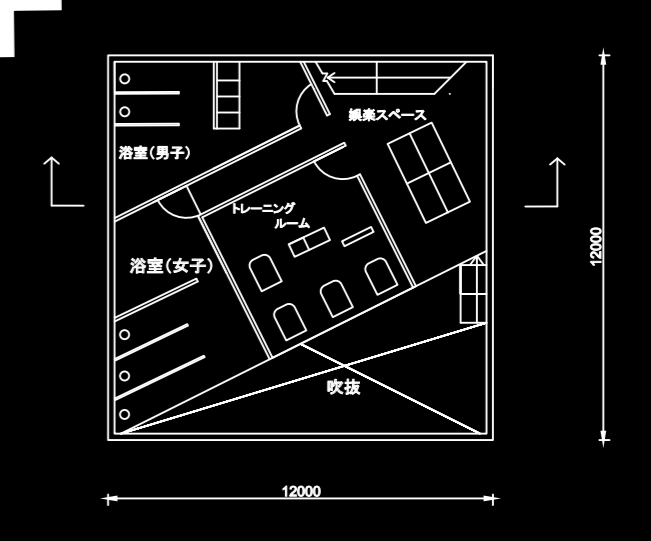
## DIAGRAM



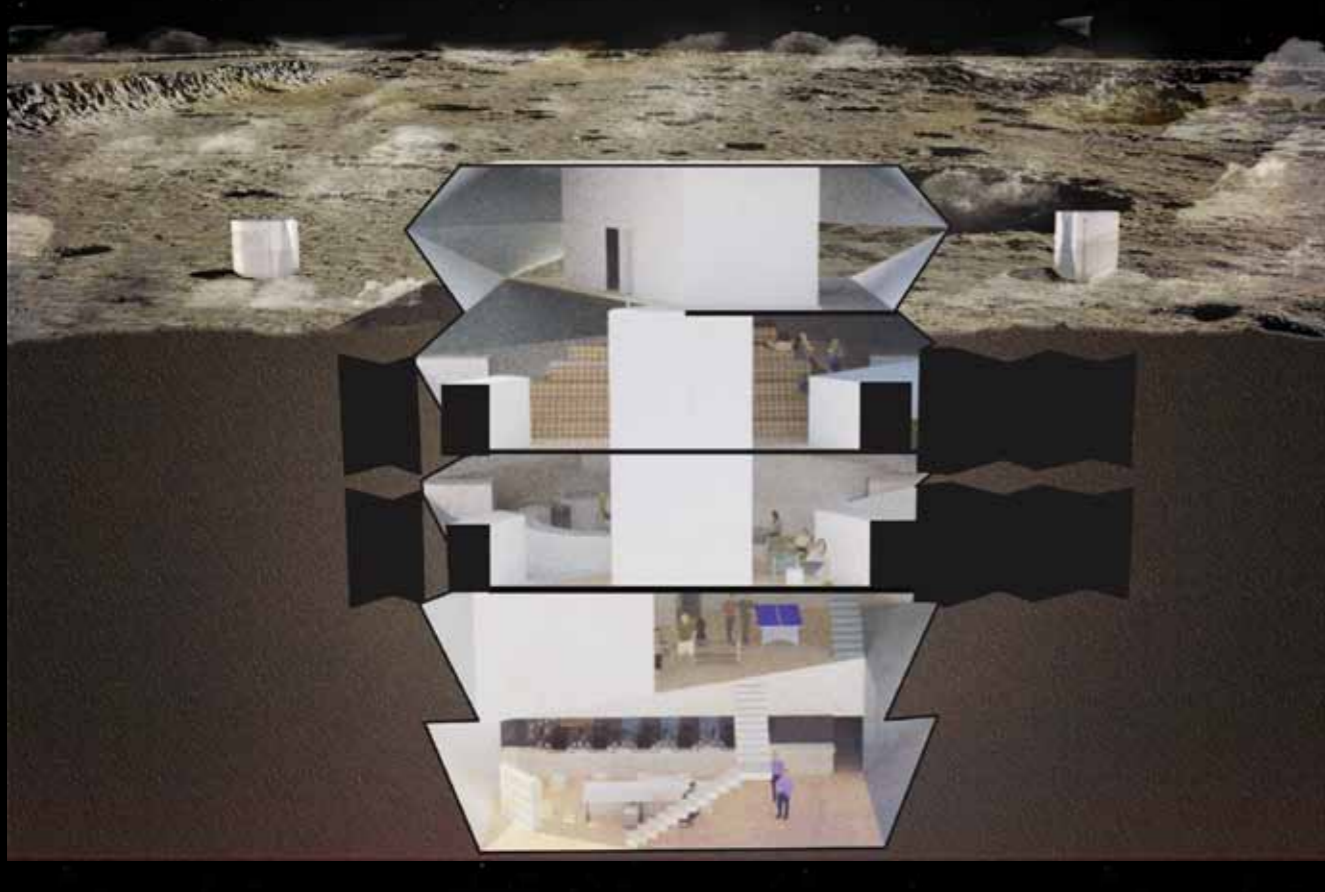
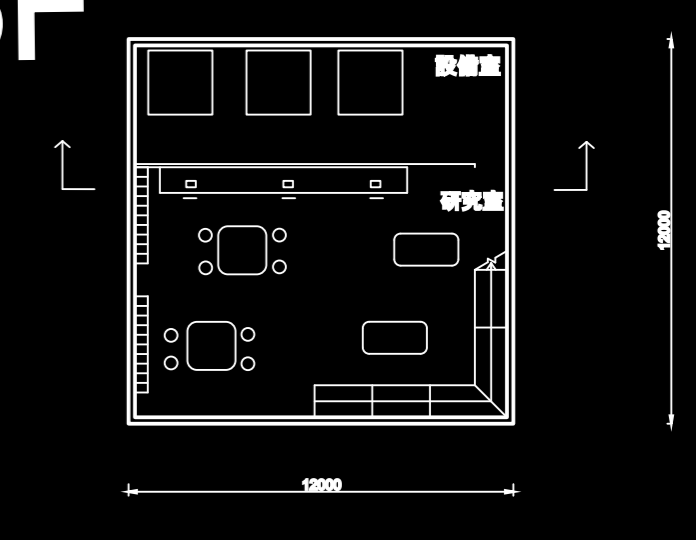
## B3F



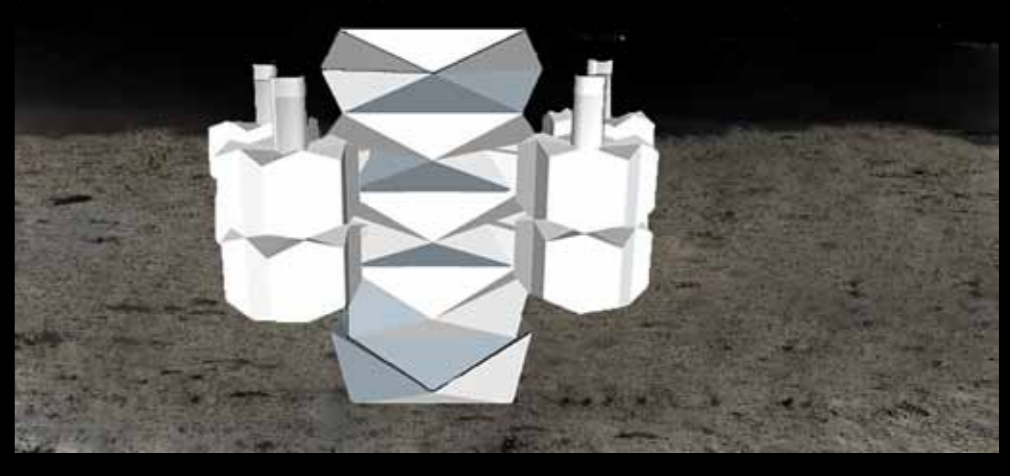
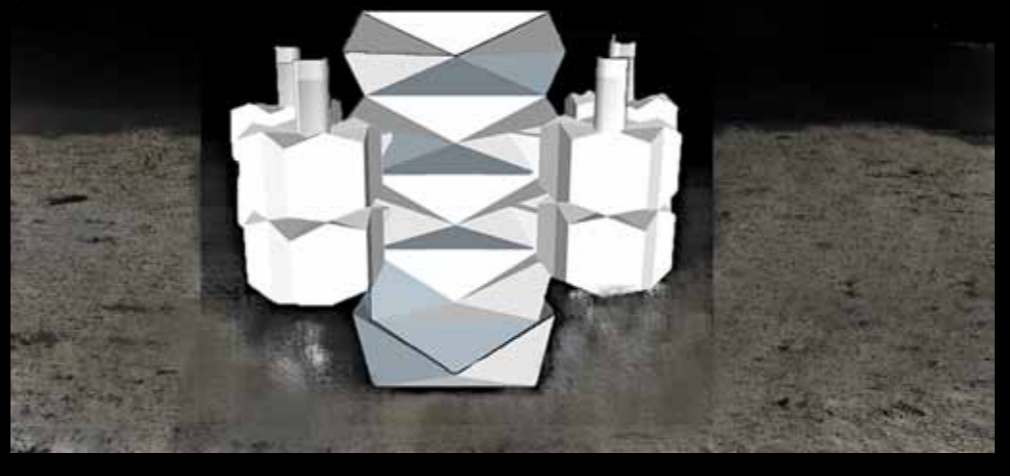
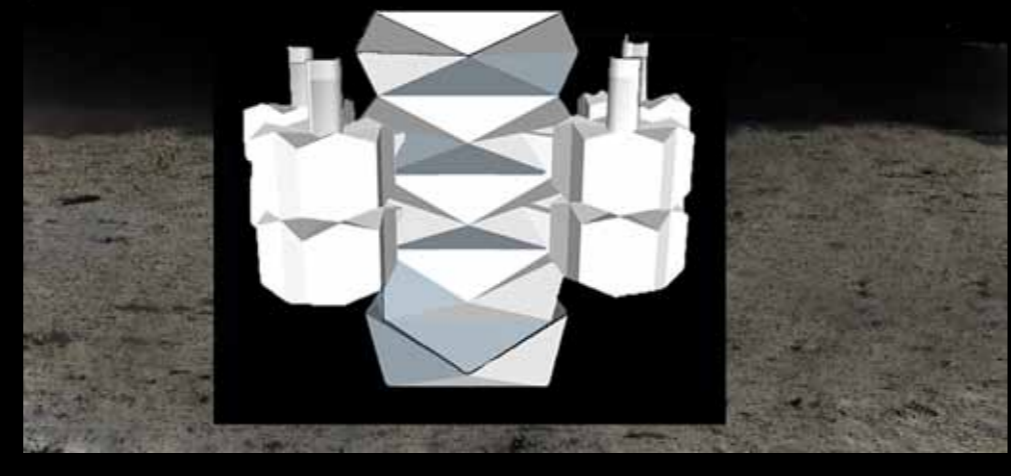
## B4F



## B5F



## 施工方法



- ① 月の洞窟を発見!
- ② 洞窟に建物を挿入する
- ③ 建物を月の過酷な環境から守るため空際に土を入れる。
- ④ 完成 (埋め戻しの工法を利用)